

団体名称	山綾会
設立目的	<p>「生涯登山」を合言葉に、中高年の健全な登山、ハイキングを行うことにより、会員の健康増進と相互の親睦を図ることを目的としています。</p> <p>【設立年月日】平成4年10月1日</p>
団体情報	<p>【代表者】 山田 正志</p> <p>【会員数】 50名（男性20名、女子30名）、令和2年1月26日現在</p> <p>【ホームページ】 http://sanryokai1992.wed.fc2.com</p>
活動内容	<p>令和元年度活動は山行計画が49回に対して天候不良などによる中止が9回と多く、実施は40回、延べ参加人数は564名となっています。</p> <p>その中で特筆すべきは、「薬師岳・雲ノ平」と「聖岳」の二つの山行があります。薬師岳（2,926m）・雲ノ平は北アルプスの奥に位置し、秘境感漂う最後の楽園と云われ、7月29日から8月2日（4泊5日）に掛けて、参加者7名で実施しています。また、聖岳（3,013m）は3,000m峰として南アルプス最南端にあり風格と威厳がある山で、登頂には体力を必要とします。8月20日から8月23日（3泊4日）、此方も7名の参加者で実施しています（写真1）。</p> <p>クリーンピア活動は11月5日に大山清掃登山として、ヤビツ峠コースと蓑毛コースの2コースに別れて実施しました。参加者総勢28名にて、燃えるゴミ8kg、カンや瓶などの燃えないゴミ25kgを回収しました。（写真2から3）。</p> <p>「市民登山講座の実践」として10月19日に弘法山ハイキングを計画して15名の参加の申し込みがありましたが、残念ながら雨天の為に中止となっています。</p> <p>11月14日から18日に開催された「あやせ文化芸術祭」の写真部門に、山綾会では15名が出展しました。5日間の来場者は784人と大変盛況でした（出展作品例、写真4）。</p> <p>2017年度に山綾会では2件の事故が発生した為、安全・安心登山を第一として啓発活動をおこなっています。その結果、昨年に引き続き本年度も無事故・無災害を達成することが出来ました。又、ここ数年、新たに山綾会に入会する人よりも会員の高齢化による退会者が多く、会員数が減少しています。綾瀬市広報誌や登山講座を通じて会員の募集を呼びかけ、今後も会の発展と生涯登山をめざしていきます。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> <div data-bbox="400 1585 970 2011" data-label="Image"> </div> <p>写真 1 聖岳山頂</p>



写真 2 大山清掃登山(ヤビツ峠での清掃活動)



写真 3 大山清掃登山(大山 下社にて)



写真 4 ドローンの如く
(槍ヶ岳山荘を標高差 100mの槍ヶ岳山頂(3,180m)から撮影)

連絡先	【担当者】 栗原十九二
	【住 所】
	【電 話】
	【FAX】
	【メール】

団体名称	NPO 法人四十八瀬川自然村
設立目的	四十八瀬川流域の原風景と、ホタルの棲める環境をまもる。 【設立年月日】2001年9月 秦野市民15名で「四十八瀬川自然村」を設立。 2007年5月 NPO 法人認可、登録
団体情報	【代表者】 【会員数】 村民60名(男性45名・女性15名)・高齢者多数 【ホームページ】48se-mura.com
活動内容	豊かな里山の自然環境を後世に引き継ぐため、荒廃化した水田・農地・里山の整備にと活動が続ける。又河川活動では県の絶滅危惧種の「カジカ」の定点調査やホタル生息地の整備等に取り組んでいる。ホタル鑑賞会や、各イベントに参加普及啓発に努めている。里山活動では、炭焼、しいたけ栽培、薪作りなど資源の循環を実施している。また整備した里山環境を体験企画として、ツーリズム活動(米作り、しいたけ刈り、ブルベリー収穫、しめ縄作り)なども行っている。ほか酒米の栽培を行い、どぶろく作りを目指している。
連絡先	【担当者】 小野 均
	【住 所】
	【電 話】
	【FAX】
	【メール】 hi_ono@hotmail.co.jp

団体名称	NPO法人自然塾丹沢ドン会
設立目的	<p>丹沢及び山麓の豊かな自然、風土、文化の変容に対して、「登山道等の補修」「伝統風景の保全」「風土が育んだ文化、伝統、芸術の保全」等の事業を、山麓に暮らす人たちとともにを行い、もって健全な社会資産の形成、公益の増進に寄与することを目的とする。【設立年月日】1992年3月（NPO法人認証 2001年9月11日）</p>
団体情報	<p>【代表者】片桐 務 【会員数】130家族 【ホームページ】http://www.donkai.com/</p>
活動内容	<p>里地・里山は、かつて人の手が入り、活用・管理されて風景を保ち、生物の多様性も維持できていました。しかし、エネルギー革命・高度経済成長・人びとのライフスタイルの変化とともに、価値を見出すことができなくなった里地・里山では、人の手が入らなくなり、自然の循環が途絶え、荒廃の一途をたどっています。</p> <p>丹沢ドン会では、毎年参加者を募集する「丹沢自然塾」の開催により、農家に代わって丹沢の麓と都市を結び、人海戦術で棚田の復元活動に取り組み、田んぼで米づくりを行っています。</p> <p>自然に癒されながら、仲間づくりをする参加者は、秦野市名古屋の棚田や羽根の里山で、それぞれの居場所を見出し、安全・安心な食べものづくりを通して「食」の大切さを考え、小さな地域経済を起こしています。さらに、人間の都合を少し控えた活動を継続しながら、生物の多様性の実現を図っています。また、生物の多様性を支えているのは、活動の担い手である人間の多様性であることを実感しながら、身近な自然である里地・里山を復元・保全して伝統的な農村風景を再生し、次の世代へ伝える活動を継続しています。</p> <p>丹沢ドン会設立25周年を記念して、保全生態学の泰斗・東京大学名誉教授の鷲谷いづみさん、名古屋の水生生物の調査を16年にわたり継続している東海大学自然環境課程教授の北野忠さんを迎えて、生物多様性緑陰フォーラム in 名古屋「さとやまと生物多様性のいま」を2016年10月に名古屋で開催しました。</p> <p>2017年4月からは、丹沢ドン会と東海大学自然環境課程・慶應大学一ノ瀬研究室との協働による「名古屋の自然総合調査」をスタート。2018年6月に1年次の中間報告会を慶應大学一ノ瀬研究室により、2019年4月には東海大学北野・藤吉研究室により2年次の中間報告会を開催。2019年度は、水生生物・水・土壌・植物・哺乳類・昆虫・鳥などについて3か年の継続調査の3年目を実施しました。2020年3月には最終報告を得ます。名古屋の自然の現状を明らかにし、生物多様性の保全・再生や、里地・里山の管理の手法に生かします。</p> <p>2019年度の「丹沢自然塾」は、4月の開講オリエンテーション・棚田の種まき教室から始まり、田植え・稲刈りなどの米づくり、そばの種まきから始める新そば手打ち体験教室などの安全・安心な食べものづくりを軸として展開しました。その他にも田んぼの生き物観察、里山ウォーキング、里山管理教室など合計10のカリキュラムで、都市の市民と丹沢山ろくを結ぶ活動を展開しました。</p> <p>昨年に引き続き相模原の児童指導員グループによる子どもたちの自然観察会を、東海大学の北野忠教授の指導で5月19日に、次世代への伝統的な農村風景を伝える</p>

ための人材育成の一環として第3回「丹沢子ども自然塾」を8月4日に開催しました。

2019年12月には、丹沢ドン会の活動と名古屋の棚田が、一般社団法人関東地域づくり協会・公益財団法人日本生態系協会主催による、第11回「関東・水と緑のネットワーク」の選定を受けました。

名古屋の棚田で丹沢自然塾「田んぼの生き物観察教室」(2019年7月6日)



連絡先

【担当者】片桐 務

【住所】秦野市東田原 200-49

【電話】

【FAX】0463-83-7355

【メール】yumekoubou-t@nifty.com

団体名称	NPO 法人 丹沢自然保護協会
設立目的	「空に鳥 森に獣 川に魚」のいるごく当たり前の自然環境が人が生きていくために、特に子供たちにとって大切であるという思いに共感していただいた方々と共に、丹沢の豊かな自然環境を守り次世代に引き継ぐ活動を行う。 【設立年月日】 1960 年
団体情報	【代表者】 中村 道也 【会員数】 430 名 【ホームページ】 丹沢自然保護協会 で検索してください
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 4月13日 春の植樹 菩提峠に500本の植樹を行った。参加者147名。 2. 8月13日から15日 森の学校「夏の教室」 札掛周辺で、生命のつながりについて考えようをテーマに、丹沢の森と川の生き物について学び体験しました。 参加者 48名 3. 12月27日～29日 森の学校「冬の教室」 札掛周辺で、生命のつながりについて考えようをテーマに、丹沢の森の生き物について学び体験しました。 参加者 25名 4. 5月18日 春の丹沢フォーラム 公園整備事業の現地を訪ね、登山道や山岳トイレ等の整備状況を検証。自然公園の在り方を考える提言型フォーラムとして実施。 参加者 45名 5. 11月16日 秋の丹沢フォーラム 身近な森の役割をテーマに、丹沢山麓の里山の二次林を訪ね、都市周辺に残された雑木林の保護とかかわりを考えました。 参加者 47名 6. 4月20日 丹沢を歩く「弘法山」 「丹沢に咲く花」の図鑑をもって、弘法山の春の花を探しながら歩きました。 参加者 11名 7. 12月14日 丹沢を歩く「ヨモギ尾根」 菩提峠～三の塔を経由してヨモギ尾根をヨモギ平まで下り、昔歩かれていた道なき道を下って札掛まで歩きました。 参加者 8名



植樹の様子

(植樹)



僕の植えたモミ



静かなヨモギ尾根



(丹沢を歩く)

ヨモギ平で昼食



落ち葉の中の虫を探す

(森の学校)



水生昆虫の勉強

連絡先

【担当者】山形 輝夫

【住所】藤沢市長後2499

【電話】090 - 1807 - 6021

【FAX】なし

【メール】teruoyamagata@ybb.ne.jp

団体名称	丹沢ブナ党
設立目的	<p>ブナを象徴とする丹沢の自然を守るための実践的な活動に取り組むことを目的とする。</p> <p>【設立年月日】1990年11月3日</p>
団体情報	<p>【代表者】梶谷 敏夫</p> <p>【会員数】90名</p> <p>【ホームページ】http://tanzawabunato.web.fc2.com/</p>
活動内容	<p>1. ブナ林方形区調査、ブナハバチ被害状況調査の実施 前年からのひき続きの鍋割山稜大丸でブナ林方形区調査、ブナハバチ被害状況調査に取り組みました。実生は少なかったです。ハバチの被害は少なかったです。</p> <p>2. 秦野市峠地区大規模霊園開設計画問題への対応 霊園工事が完成。横浜弁護士会自然保護部の弁護士3人を案内し現状の説明を行いました。また、「渋沢丘陵歩きたい」で、周辺の残された貴重な自然を観察しながら、完成した霊園の実態をしっかりと見ました。 オオムラサキの越冬幼虫の発生複数も漸減しました。</p> <p>3. 大磯丘陵チョウ観察会 大磯丘陵におけるチョウ観察会で、たくさんのチョウを見ることができました。</p> <p>4. ツキノワグマの痕跡調査、餌植物調査の実施 白石峠から畔ヶ丸、大山北尾根からネクタイ尾根で実施しましたが、痕跡は確認できませんでした。</p> <p>5. 他団体との交流 富士ゼロックス端数倶楽部、中央大学WVOB会、塚原の雑木林を守る会との交流を行いました。</p> <p>6. シンポジウムの開催 シンポジウムを開催し、一般市民の皆様に丹沢の問題を考えて頂く機会を作りました。</p>
連絡先	<p>【担当者】梶谷 敏夫</p> <p>【住所】横浜市港北区箕輪町3-3-8</p> <p>【電話】045-563-3953</p> <p>【FAX】045-563-3953</p> <p>【メール】bunato-kazitani@mub.biglobe.ne.jp</p>

団体名称	西丹沢の自然にふれあう会
設立目的	西丹沢・北丹沢計6箇所の避難小屋およびその往復登山道の清掃活動をするため 【設立年月日】2000年6月25日
団体情報	【代表者】多田慎一 【会員数】31名 【ホームページ】-
活動内容	<p>令和元年度の活動概略</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月一回の例会を計8回実施。内容は避難小屋や西丹沢を主とした登山道の清掃活動など（写真は令和元年9月例会一軒家避難小屋清掃後、西丹沢ビジターセンターで） 参加者延べ65人、回収ゴミ16kg。 ・西丹沢山開きに登山者代表として参加 ・ボラネット関連では水質検査採水の分担 
連絡先	<p>【担当者】沼野正睦</p> <p>【住所】</p> <p>【電話】</p> <p>【FAX】</p> <p>【メール】mnumano@jcom.home.ne.jp</p>

団体名称	蛭ヶ岳山荘委員会
設立目的	<p>神奈川県より譲渡された、民間経営の山小屋としてお客様が快適に過ごせる山小屋を目指して営業努力している。山岳愛好者を中心とする一般登山者に対して、北丹沢地域の山岳活動に関する事業を行い、もって環境保護・スポーツ振興・災害救助に寄与することを目的とする。</p> <p>【設立年月日】 1998年 4月 1日</p>
団体情報	<p>【代表者】 杉本 憲昭</p> <p>【会員数】 蛭ヶ岳山荘友の会70名</p> <p>【ホームページ】 http://kitatan.com/hirutop</p>
活動内容	<p>2019</p> <p>4月15日 春・夏用の物資荷上げ 北丹沢山開きに合わせ山頂での清掃活動（登山者へ呼びかけ）</p> <p>5月 登山道利用実態調査協力、丹沢大山流域の水質調査に協力</p> <p>10月12日 台風19号により災害発生林道不通 現在に至る</p> <p>10月28日 蛭ヶ岳 秋・冬用の物資荷上げ （神ノ川林道通行止めの為菩提峠にて実施）</p> <p>活動場所 北丹沢山域（特に蛭ヶ岳、神の川乗越、姫次を中心とした地域）</p> <p>蛭ヶ岳山荘友の会会長 東城 進紀</p>
連絡先	<p>【担当者】 杉本 憲昭</p> <p>【住所】 相模原市緑区小淵1545-1</p> <p>【電話】 042-687-4011</p> <p>【FAX】 042-687-3980</p> <p>【メール】 kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp</p>

団体名称	NPO 法人 みろく山の会
設立目的	健全かつ安全な登山、ハイキングに対する事業を行いスポーツの振興に寄与する目的で設立されました。 【設立年月日】1983年4月設立。2000年3月山岳会として全国で初めてNPO法人として認証を受けました。
団体情報	【代表者】理事長 石井 行雄 【会員数】749名（2019年3月末） 【ホームページ】 http://www.mirokuyamanokai.org/
活動内容	<p>会山行は月60回以上で年間770回以上を、148名のリーダーで初心者から経験者までが参加できる山行を計画しています。近郊の公園歩きをはじめアルプスなどの山行から沢登りやクライミング、スキー及び海外登山まで多様な山行を実施し、延べ9千人以上が参加しています。</p> <p>当会の三大大行事として年一回の総会・みろく祭り・清掃登山活動があります。その中で自然保護活動の一環として実施している、清掃登山活動は会創立以来継続して取り組んでおり、今年度第37回目を2019年5月11日にクリーンキャンペーンとして大倉周辺の10コースに会員221名が参加して、ゴミ361.0kgを収集しました。</p> <p>丹沢大山再生計画の第一期から行っている大倉尾根の県民協働型登山道補修は毎月一回10名程度が参加し、登山道の老朽化した階段や水切りの補修を行っています。</p> <p>森づくりは2haのやどりき水源林で年数回の草刈りと2017年度まで毎年100本以上の広葉樹5種類以上の植樹をして来ましたが、今年度は間伐や移植を中心に行いました。</p> <p>また、丹沢の自然観察会なども行っています。</p>
連絡先	<p>【担当者】河野知典</p> <p>【住所】横浜市西区戸部本町51-13 松村興産ビル2階</p> <p>【電話】045-317-2369（平日12:00-17:00）</p> <p>【FAX】045-317-2365</p> <p>【メール】sizenhogo-bu@mirokuyamanokai.org</p>



2019年5月 清掃登山活動集合写真



2019年4月やどりき水源林森づくり活動



2019年6月自然観察会

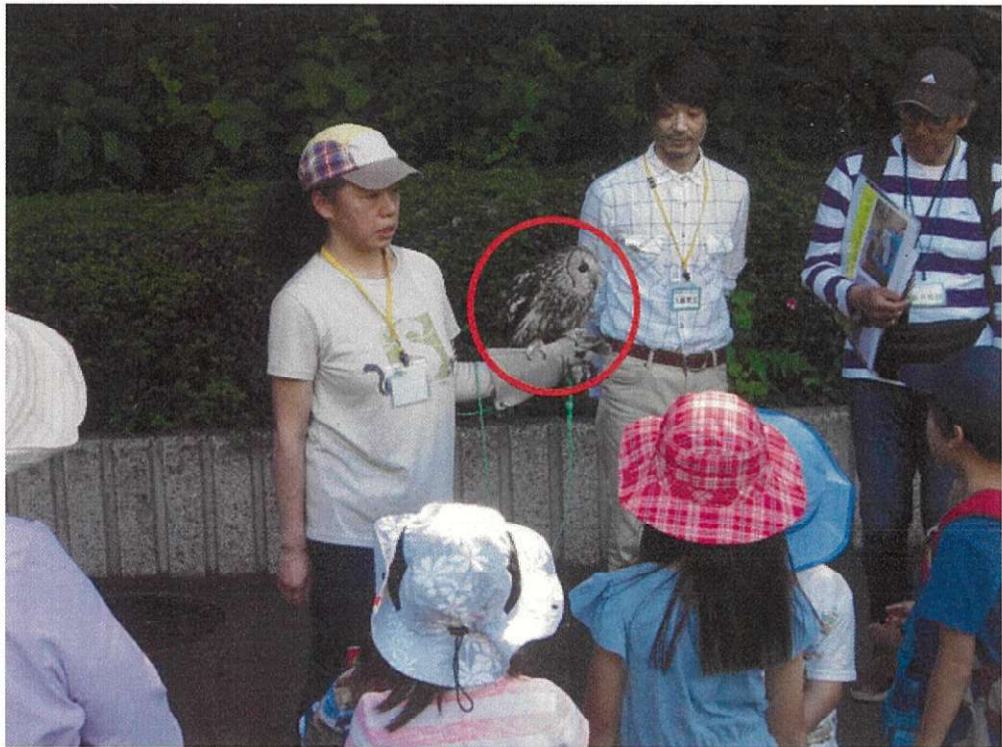


2019年10月大倉尾根登山道倒木処理



2019年11月大倉尾根登山道補修活動

団体名称	NPO 法人 野生動物救護獣医師協会神奈川支部 (WRV 神奈川支部)
設立目的	野生動物の救護活動を通じ、神奈川県における自然環境保全に寄与することを目的とする 【設立年月日】 2003 年 7 月 5 日
団体情報	【代表者】 皆川康雄 【会員数】 約 10 名 神奈川県野生動物リハビリテーター認定者：約 100 名 【ホームページ】 https://www.wrv-kanagawa.net/ 【Facebook ページ】 https://www.facebook.com/wrv.kanagawa
活動内容	丹沢大山の自然環境保全に直接かかわる活動は特にないが、県内の野生動物救護施設を中心に県内全域で以下の活動をしました。 ①傷病野生動物の救護と野生復帰 ②傷病野生動物の救護に従事できる専門的なボランティア『神奈川県野生動物リハビリテーター』を県の協力を得て養成及び資格認定 認定された野生動物リハビリテーターは、県自然環境保全センター、横浜市立動物園（野毛山・金沢・よこはま動物園ズーラシア）及び川崎市夢見ヶ崎動物公園にて活動 ③大学や専門学校を対象に野生動物リハビリテーター人材の育成のための専門家教育 ④次代を担う子どもたちに生命や自然の大切さ、人と野生動物との共生のための環境教育 ⑤県民に野生動物救護に対する理解を深めてもらうための普及啓発 ⑥救護原因の究明や予防対策のための調査研究



横浜市立金沢動物園にて定期的に行っている「フクロウガイド」の一コマ。実際に横浜市内で保護され野生復帰は叶わなかったフクロウを訓練して環境教育に活用。人間活動によって怪我をしてしまうフクロウの実状や傷病鳥獣保護活動の意義をわかりやすく紹介している。

連絡先

【担当者】 皆川康雄

【住所】 〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋 5-17-15 皆川ハイツ 102

【電話】 045-548-4744

【FAX】 045-548-4745

【メール】 kanagawa@wrvj.org

団体名称	かながわ野生動物サポートネットワーク
設立目的	傷病、他、さまざまな理由で人間の手の中に入ってくる野生動物から、その背景にある真の問題を探り、折り合いの着地点や解決法を考えるなどの活動を行っています。実際の救護、救護アドバイス、啓発普及活動のほか、多くの団体、個人のネットワークを活かし、神奈川野生動物救護連絡会（救護連）の構成団体として WRV 神奈川支部、神奈川県野生動物リハビリテーター、その他有志の方々と連携した活動も行っていきます。【設立年月日】平成 10 年 4 月 1 日
団体情報	【代表者】葉山 久世 【会員数】プロジェクトごとに有志で活動、又は団体が協働するスタイルをとっています。現在会員募集なし。
活動内容	かながわ野生動物サポートネットワークとして <ul style="list-style-type: none"> ●県の野生動物対策の委員（カワウ、外来生物） ●サギの糞・鳴き声被害対応（南足柄市） ●御蔵島のノネコ調査、オオミズナギドリ保全への協力（御蔵島のオオミズナギドリを守りたい有志の会との協働）モバイル WS、普及：さがみ自然フォーラム、野毛山動物園「動物たちの SOS」展 ●外来種 普及啓発：CoCo いきましょ会リレー講座 ●野生動物医学会 SSC 講師 カナダガン調査グループのメンバーとして <ul style="list-style-type: none"> ●書籍「しあわせのシジュウカラガン物語」カナダガンの章執筆 ●野生動物救護相談（内容：保護の判断、給餌方法、拾得死体の扱い、ボランティア活動相談など） 神奈川野生動物救護連絡会のメンバーとして <ul style="list-style-type: none"> ●野鳥への釣り針・釣り糸被害防止、海ゴミ、プラスチックによる野生動物への被害（普及啓発：さがみ自然フォーラム、雑誌 BIRDER3 月号記事） ●かながわ海岸美化財団より感謝状（長年の普及活動に対し） ●トビ被害の防止（予防のための普及啓発：金沢いきいきまつり、藤沢市環境フェア、長浜公園感謝 DAY、さがみ自然フォーラム）
連絡先	【担当者】葉山久世
	【住 所】
	【電 話】0463-93-6589
	【FAX】同上
	【メール】 pcv@nifty.com

団体名称	町田グラウス山の会 （ 日本勤労者山岳連盟所属 ）
設立目的	ハイキング、山岳スキー、自然保護活動などを行う地域山岳会。 【設立年月日】 1984 年 1 月
団体情報	【代表者】 前川 秀幸 【会員数】 172 名 【ホームページ】 http://machida-grouse.com/
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 丹沢だけではなく、国内外の山岳での登山活動。 ・ 4月21日（日）、丹沢山開き式への参加と、三ノ塔尾根での植物観察会を実施。参加者は12名。ヤマドリソウやフデリンドウ、スミレ類10種などを観察。 ・ 5月27日（日）、障害者との交流ハイキングを弘法山公園で実施した。会員86名。車椅子利用者7名を含めて、総勢130名が参加。スイカ割り、合唱、パン食い競争などで交流を深めた。 ・ 早戸川上流の魚止めの森の植樹地の手入れ作業と植樹活動を秋に実施する予定だったが、契約期間満了の為、終了した。 ・ 10月20日（日）、ヤビツ峠周辺でクリーンハイク（清掃登山）を参加予定者50名で実施予定であったが、台風19号の影響で中止した。 ・ 丹沢登山者意識アンケート調査を、約300名の登山者を対象に、秦野駅のバス停留所で3回実施した。
連絡先	【担当者】 安田 優 【住 所】 【電 話】 【FAX】 【メール】 m_and_e_yasuda@yahoo.co.jp

団体名称	NPO法人丹沢自然学校
設立目的	<p>丹沢地域に暮らす人々及び丹沢地域を訪問する人々に対して、相互の交流を促進すると共に、丹沢地域の自然、文化の普及、啓発に関する事業を行い、丹沢地域の自然環境及び地域文化の保護、保全に寄与することを目的とする。</p> <p>2009年4月23日NPO法人として設立(2007年3月3日任意団体として発足)</p>
団体情報	<p>【代表者】 理事長 五十嵐聡</p> <p>【会員数】 17名</p> <p>【ホームページ】 http://www.tes21.org</p>
活動内容	<p>私たちは西丹沢を中心に、丹沢の自然や文化を体験するエコツアー・プログラムを企画・実施しています。</p> <p>2019年度は、8回のエコツアーを実施し、延べ70名の方にご参加いただきました(3月実施予定の1回を含みます。なお、今年度は台風等による中止が7回もありました)。下記にその一部を紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全身に水を浴びて西丹沢の源流の沢をさかのぼる「シャワークライミング」。滝を登って淵で泳ぎ、水生生物を探し、湧き水を味わう。夏休みの土日限定、丹沢自然学校で最も人気があり、私たちも力を入れているプログラムです。 ・「ヒミツの丹沢探検部」 丹沢自然学校スタッフのとおきのマイナーコースを歩くイベント。「参加者全員がガイド」を合言葉に、誰かが引率するガイドツアーではなく交流登山として実施しています。(今年は3回企画しましたが、全部雨で中止となってしまいました。) ・「丹沢山麓で砂金探し」 丁寧に泥を流していくと、きらりと光る一粒を発見！一獲千金！…は無理ですが、なぜここに金が出るのか、丹沢の成り立ちからさぐる学びも交えたエコツアーです。 ・お店でお茶を飲みながらゲストの講演を聞く「丹沢よろずカフェ」。今年は山北の薫る野牧場について、自然と人と家畜が共生する山地酪農のお話を伺いました。 <p>エコツアー以外のボランティア活動としては、西丹沢の植生の状況を追跡調査する定点撮影調査を2010年度から行っています。丹沢の林床植生がいったん衰退した後に回復していく証拠をとらえることができます。</p> <p>地域への貢献としては、秦野丹沢まつりの山開きイベントにガイドとして協力しました。また秦野市郊外の小学校・幼稚園で、水生生物・野生動物調査の出張授業を3回実施しました。</p> <p>なお、定点撮影調査と生物調査については、丹沢の緑をはぐくむ集いのボラネット助成金を活用して実施しています。</p> <p>これらの活動を通じ、多くの方に丹沢の自然や文化を知っていただき、丹沢の自然のために行動する輪が広がっていくことを願っています。</p>



シャワークライミング (2019年8月)

丹沢よろずカフェ (2020年2月)



林床植生の定点撮影(檜洞丸) 左:2010年9月、右:2019年9月
植生が回復傾向にあることがわかる。



野生動物調査隊 (秦野市立上小学校での特別授業として実施)

連絡先

【担当者】

【住所】 秦野市八沢 76-5

【電話】 080-5528-1491

【FAX】 0463-57-2967

【メール】

団体名称	特定非営利活動法人 野生動物救護の会
設立目的	野生動物の保護及び救護に関わる活動を通じて、自然環境と生物多様性の保全に貢献することを目的とする。 モットーは「一頭一羽でも多くの野生復帰を目指して！」 【設立年月日】平成18年10月2日
団体情報	【代表者】渡辺 優子 【会員数】約90名 小学生から年配者まで幅広い会員 【ホームページ】 http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp
活動内容	基本は神奈川県自然環境保全センターにおける野生動物救護ボランティアとしての活動。 <ul style="list-style-type: none"> ・5月～7月28日 ブナの森ギャラリー展示 「みんなの知らないツバメの世界 つばくろ」 ・5月11・12日 伊勢原市 第28回公園緑化まつり 参加 ・5月～8月31日 企画展示「人と猛禽類の関係」開催 ・6月15・16日 令和元年度野生動物救護ボランティア講習会 開催 ・7月27日 第9回夏休み子ども体験教室「野生動物を学ぶ」開催 ・8月10日 第2回夜の観察会 開催 ・8月23日 薪束作り&巣箱作成 ・8月31日 第5回痕跡調査講習会 開催 ・9月7日 第1回スキルアップ勉強会 開催 ・9月28日 巣箱作成 ・9月29日 令和元年度野生動物救護ボランティア修了式 開催 ・10月6日 横須賀動物フェスティバル 展示参加 ・10月19日 令和元年度 第1回 救護動物特別公開 参加 ・10月20日 厚木環境フェア 展示参加 ・10月26日 第2回 スキルアップ勉強会 開催 ・11月3日 はだの市民祭りパネル展示参加 ・11月12日 秦野市立南小学校エコスクール 参加 ・11月24日 動物フェスティバル神奈川2019 in さむかわ・ちがさき 展示参加 ・11月30日 第3回 スキルアップ勉強会 開催 ・12月14日 傷病舎大掃除&豚汁大会開催 丹沢大山自然再生活動報告会ポスター展示参加 ・12月21日 日立 IT エコ実験村見学会 開催 ・1月21日 秦野市立西小学校エコスクール 参加 ・2月6～11日 さがみ自然フォーラムパネル展示参加 ・2月16日 冬の探鳥会（初心者向け） 開催 ・3月30日 春休み子ども体験教室開催（予定）

	<p>通年調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「足環プロジェクト」 ・秦野市立図書館衝突調査及び死亡個体の解剖検証 ・フクロウなどの巣箱調査 ・神奈川県自然環境保全センター野外施設及び傷病鳥獣治療飼育舎周辺での「野生動物痕跡調査」 <p>そのほか羽根標本作成や探鳥会などを行っている また、会報誌 RUNNER 発行やブログ更新（随時）も行っている</p>
連絡先	<p>【担当者】 渡辺 優子</p> <p>【住 所】 神奈川県秦野市戸川 1086-4</p> <p>【電 話】 0463-75-1830</p> <p>【F A X】</p> <p>【メール】 wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp</p>



ブナの森ギャラリー展示



伊勢原市公園緑化まつり



夏休み子ども体験教室



動物フェスティバル神奈川 2019

団体 名称	湘南自然観察クラブ
設立 目的	自然観察を通して環境保全をめざしたい 【設立年月日】平成22年12月
団体 情報	【代表者】石山 浩恵 【会員数】8名 【ホームページ】-
活動 内容	<p>月1回 県央・湘南・西湘・横浜地区をベースにいろいろな方との交流を兼ねて動植物の観察会を行っています。</p>  <p>自然保全センターにおいてミニ観察会の実施</p>   
連絡 先	【担当者】石山 浩恵
	【住 所】
	【電 話】045-301-9617
	【FAX】同 上
	【メール】stone-mountain@jcom.home.ne.jp

団体名称	伊勢原の自然と環境を守る会
設立目的	伊勢原の自然と環境を破壊から守り、自然と共生する生活を模索することで、大量生産・大量消費社会を超えた、新たな持続可能な循環型社会を実現する。 【設立年月日】 1993年7月1日
団体情報	【代表者】北山 宏之 【会員数】70名 【ホームページ】 http://www.geocities.jp/iseharakankyou/
活動内容	活動の柱 (地域の環境保全活動全般) 1) オオタカの調査、保護 2) 大気汚染NO2調査 3) 環境保全型農法の研究 4) 第2東名、246バイパスへの対応、5) 農作物などに含まれる放射線量の測定 活動詳細 1 日向の畑関連 田植え 5月 田の草取り 7月 そばの種まき 8月 稲刈り 9月 そば刈り ・脱穀粉摺り10月 鴨そばP 11月 2 講演会・先進事例の視察研修会の企画 (伊勢原環境ネットワークに協力) 市民向け地球温暖化対策セミナー ① 基調講演 「地域から世界と未来が変わる再生可能エネルギー」 飯田 哲也 氏 (環境エネルギー政策研究所所長) ② 環境団体等による取組み発表 ・東京農業大学 ・アズビル株式会社 ・あつぎ市民発電所 ・WE21ジャパン・伊勢原 環境を考える見学会 ① ナカノ株式会社(秦野市) 古着・古繊維リサイクルについての工場見学 ② 神奈川県環境科学センター(平塚市) 講座「相模湾に漂着するマイクロプラスチック」
連絡先	【担当者】北山 宏之 【住所】伊勢原市三ノ宮1777-7 【電話】0463-91-2334 【FAX】 【メール】 kitayama-hiro@kfx.biglobe.ne.jp

団体名称	丹沢環境推進会議
設立目的	神奈川県内に於いて、丹沢大山地域の自然環境保護保全活動を行う。 2017年4月10日任意団体として設立
団体情報	代表者 小林 昭五 会員数 10名 機関誌 丹沢環境推進会議だより 年3回発行
活動内容	<p>(1) 神奈川県内に於いて、丹沢大山地域の環境保護活動、啓発活動、人材育成活動を行った。</p> <p>(2) 丹沢大山地域の環境美化活動を行った。</p> <p>(3) 丹沢大山地域の環境検定問題づくりを行った。</p> <p>(4) 目的達成のため他団体と協力連携してボランティア活動を行った。 水質調査、登山環境意識調査アンケート活動、美化活動に協力した。</p> <p>(5) 環境活動研修会、実践報告会へ積極的に参加した。</p>
	 <p>丹沢大山自然再生活動報告会 ポスターセッション発表</p>
	 <p>中学校で丹沢環境啓発授業</p>
	 <p>ポスターセッション発表</p>
連絡先	<p>【担当者】 小林 昭五</p> <p>【住所】 秦野市東田原200-109</p> <p>【電話】 0463(82)1992</p> <p>【FAX】 0463(82)1992</p> <p>【メール】 a.kobayashi4246@nifty.com</p>

Ⅲ 世話人会の活動報告

令和元年度世話人会の活動報告書

1 世話人会の開催

(1) 第1回

実施日 令和元年6月5日(水)
場 所 神奈川県自然環境保全センター
出席者 8名
内 容 ①夏休み親子自然探検隊 ②瓦版 ③丹沢大山登山環境意識調査
④その他

(2) 第2回

実施日 令和元年9月4日(水)
場 所 神奈川県自然環境保全センター
出席者 7人
内 容 ①外来種調査 ②水質調査結果報告
③夏休み親子自然探検隊結果報告 ④その他

(3) 第3回

実施日 令和元年12月4日(水)
場 所 神奈川県自然環境保全センター
出席者 6名
内 容 ①令和二年度事業計画 ②講演会 ③世話人会の改選 ④その他

(4) 第4回

新型コロナ拡大防止のため中止

2 関係団体との協働

丹沢大山ボランティアネットワークから世話人会代表が各委員会へ出席

1 丹沢の緑を育む集い実行委員会総会

日 時 令和元年5月16日(木)
会 場 自然環境保全センター
内 容 ①平成30年度事業報告・決算報告について
② 令和元年度事業計画・予算について

2 大山自然再生委員会関係

(1) 第63回秦野丹沢まつり 出展

日 時 平成31年4月21日(日)

会 場 県立秦野戸川公園

内 容

- ① 丹沢再生への啓発活動
- ② 丹沢の自然環境を知らせる。
- ③ アンケート活動と募金運動
- ④ その他

(2) 大山自然再生委員会・第31回普及啓発検討部会

日 時 令和元年5月8日(水)

会 場 万国橋会議センター

内 容①平成30年度県民事業専門部会事業計画案・予算案について

- ②「地球環境イベント・かながわエコ10フェスタ2019」について
- ③「第62回秦野丹沢まつり」に関する結果について
- ④その他

(4) 丹沢大山自然再生委員会 「地球環境イベント・かながわエコ10フェスタ2019」

日 時 令和元年5月25日(土)

会 場 横浜公園

内 容 ①丹沢再生への啓発活動

- ②丹沢の自然環境を知らせる。
- ③アンケート活動と募金運動
- ④その他

(5) 丹沢大山自然再生委員会 会計監査

日 時 令和元年5月17日(月)

会 場 自然環境保全センター

(6) 丹沢大山自然再生委員会 令和元年度総会

日 時 令和元年6月28日(金)

会 場 神奈川自治会館3階会議室

内 容 ①平成30年度事業実績・決算について

- ②令和元年度事業計画・予算について
- ③専門部会の設置要綱の改正について

- ④丹沢大山自然再生活動報告会について
- ⑤役員、幹事の改選について
- ⑥丹沢大山自然再生事業成果報告

(7) 丹沢大山自然再生委員会・第33回普及検討部会

日 時 令和元年9月6日(金) 14:00~16:00

会 場 産業貿易センター

- 内 容
- ①第63回秦野丹沢まつりへの出展結果について
 - ②地球環境イベント・かながわエコ10フェスタ2018への出店結果について
 - ③ワールドフェスタ・ヨコハマ2018への出店について
 - ④「第63回秦野丹沢まつり」への出店について
 - ⑤その他

(8) 丹沢大山自然再生委員会 第33回幹事会

(令和元年度丹沢大山自然再生活動報告会第1回実行委員会)

日 時 令和元年9月17日(火)

会 場 日本大学生物資源科学部 藤沢校舎

- 内 容
- ①丹沢大山自然再生活動報告会の企画、内容検討
 - ②その他

(9) 丹沢大山自然再生委員会

2019年度・丹沢大山自然再生活動報告会

日 時 令和元年12月15日(土)

会 場 日本大学生物資源科学部 藤沢校舎 1号館・2号館

- 内 容
- ①基調講演「丹沢山地におけるブナ林の衰退と再生に関する一連の研究」
 - ②研究・実践活動報告と活動報告セッション
 - ③その他

丹沢大山ボランティアネットワーク会則

(名 称)

第1条 本組織は、丹沢大山ボランティアネットワーク(以下「ネットワーク」という。)と称する。

(目 的)

第2条 ネットワークは、丹沢大山で自然環境に関する活動を実践しているボランティア団体の自主的な連携を図り、行政とのパートナーシップのもとで丹沢大山の自然環境の保全に関する活動の推進を図ることを目的とする。

(会 員)

第3条 会員は目的に賛同するボランティア団体により構成する。

2 入会及び退会は、所定の書面による届け出とする。

(活動内容)

第4条 ネットワークは、次の活動を行う。

- (1) ネットワークづくりの推進に必要な活動の実施
- (2) 会員への情報提供および会員相互の情報交換の推進
- (3) その他、ネットワークの目的に合致する活動

(世話人会)

第5条 ネットワークの運営のため、世話人会を設ける。

2 世話人は総会によって選出し、10名程度とする。

3 世話人会に代表1名と、副代表2名を置き、選出された構成員の中から互選により定める。

4 世話人会は代表が招集し、議長となる。

5 副代表は代表を補佐し、代表に事故ある時は、その職務を代行する。

6 世話人の任期は2年とする。ただし、再選は妨げない。

7 世話人会は、必要に応じ開催する。

(世話人会の職務)

第6条 世話人会は次の事項を行う。

- (1) 会員間の連携の推進に必要な連絡、調整
- (2) 各種情報の収集、分析
- (3) 行政とのパートナーシップの推進のため必要な神奈川県自然環境保全センターとの協議
- (4) 総会に付議する議案に関すること。
- (5) その他、ネットワークの運営のため必要な事項

(総会)

第7条 総会は、世話人会代表が召集する。

2 総会は、年1回以上開催する。

- 3 議事は、出席者の過半数をもって決定する。
- 4 議決権は1団体で1票とする。

(事業年度)

第8条 事業年度は、4月1日から翌年3月31日迄とする。

(会費)

第9条 会費は毎年4月1日から翌年3月31日迄の1年間とし、年間2,000円とする。

(庶務)

第10条 丹沢大山ボランティアネットワークの必要とする費用は、会費および助成金、その他の収入をもってこれに充当する。

- 2 会計担当者を2名以内置く。
- 3 監事を2名置き、会務および会計を監査する。
- 4 ネットワークの庶務は、当分の間、神奈川県自然環境保全センターが協力して行う。

(その他)

第11条 この会則に定めるものの他、ネットワークの運営に必要な事項は、世話人会で協議して定める。

- 附 則
- 1 この会則は、平成14年8月4日から施行する。
 - 2 この会則は、平成15年4月5日から施行する。
 - 3 この会則は、平成19年4月8日から施行する。
 - 4 この会則は、平成20年4月6日から施行する。
 - 5 この会則は、平成31年4月20日から施行する。

丹沢大山ボランティアネットワーク入会届

年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークに入会しますので、入会届を提出します。

団 体 名
住 所 〒
代表者 氏名
" 住所 〒
担当者 氏名
(連絡先) 住所 〒
" 電話
" ファックス
" E-mail

団体の概要記入欄

設立時期	
会員数	
会報	<input type="checkbox"/> あり(名称:) <input type="checkbox"/> なし
ホームページ	<input type="checkbox"/> あり(アドレス:) <input type="checkbox"/> なし
保全活動に関するキーワード	<input type="checkbox"/> 美化活動 <input type="checkbox"/> 植樹、森林の育成 <input type="checkbox"/> 調査(内容:) <input type="checkbox"/> 普及啓発(内容:) <input type="checkbox"/> その他(内容:)
活動の概要	主な活動地域 ()
自由記載欄	
連絡方法	<input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ファックス <input type="checkbox"/> E-mail

注 1 該当する□にチェックをしてください。

2 内容については、丹沢大山保全活動ホームページに掲載します。

丹沢大山ボランティアネットワーク退会届

年 月 日

丹沢大山ボランティアネットワーク
世話人会代表 様

丹沢大山ボランティアネットワークを退会しますので、退会届を提出します。

団 体 名
住 所
代表者 氏名
” 住所

退会理由：

編集・発行

神奈川県自然環境保全センター

厚木市七沢657

電話 046-248-0323